

ホームポンプ（浅井戸用自動式）

THP-81K, THP-150K, THP-250K

「取扱説明書」 P1～P6

「据付説明書」 P7～P13

このたびは、ホームポンプをお買い上げいただきありがとうございました。

- ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 特に「安全上のご注意」（1～2ページ）はよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。



目次

取扱説明書

- 安全上のご注意 …………… 1～2
- 各部の名称とはたらき …………… 3
- ご使用方法 …………… 4
- 効果的な使いかた …………… 4
- お手入れのしかた …………… 4
- 故障かな？と思ったときは …………… 5
- 安全にお使いいただくための点検のお願い … 6
- アフターサービスについて …………… 6

据付説明書

- 据え付け・配線工事の手引き …… 7～9
 - 工事をされる方へのお願い …………… 7
 - 据え付け工事について …………… 8
 - 据え付け前のご確認 …………… 8
 - 据え付け時のご注意 …………… 9
 - 配線工事について …………… 9
 - アース線の接続について …………… 9
- 凍結防止について …………… 10
- 過熱防止リレーについて …………… 11
- サーモスタットについて …………… 11
- 水温リレーについて …………… 11
- メカニカルシール・インペラの固着について … 12
- 試運転 …………… 12
- 故障診断表 …………… 13
- 仕様 …………… 13
- 保証書 …………… 14
- 営業所一覧表 …………… 15

- 据え付けはお買い上げの販売店にご相談ください。



安全上のご注意




※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。



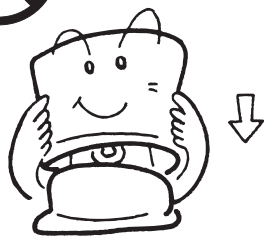


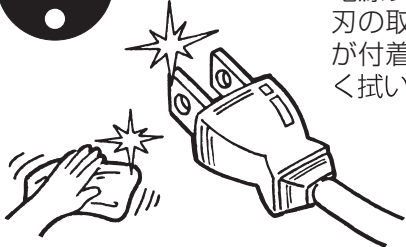

※ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例

-  △記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
-  ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
-  ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合はさし込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

 警告	
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>分解や修理は行わないでください</p> <p>修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <p style="font-size: small;">※発火したり、異常動作してけがをすることがあります。</p>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>ポンプカバー(保護カバー)は必ずかぶせてご使用ください</p> <p>ポンプカバー(保護カバー)をはずしたまま使用しないでください。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <p style="font-size: small;">※ほこりや絶縁劣化などで感電や火災の恐れがあります。</p>
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>お手入れの際は必ず電源プラグを抜いて、または電源を切ってください</p> <p>電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。また、ぬれた手で抜き差ししないでください。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <p style="font-size: small;">※感電やけがをすることがあります。</p>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>電源プラグを確認してください</p> <p>電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <p style="font-size: small;">※火災の原因になります。</p>
<div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>アースと漏電遮断器は必ず取り付けてください</p> <p>アースは確実に取り付け専用の漏電遮断器を設置してください。(アースの取り付けおよび漏電遮断器の取り付けはお買い求めの販売店にご相談ください。)</p> <p>D種接地工事(第3種接地工事)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <p style="font-size: small;">※故障や漏電のときに感電する恐れがあります。</p>	

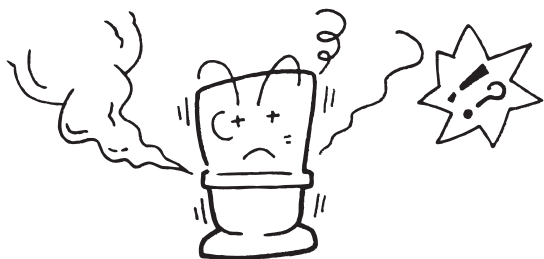
安全上のご注意

⚠ 注意



コードやプラグの確認を行ってください

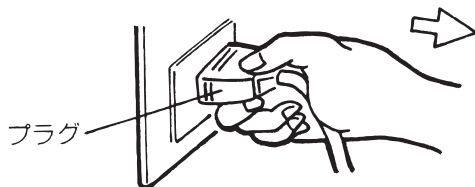
- 動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、または電源を切ってお買い上げの販売店に必ず点検・修理をご依頼ください。



※感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。



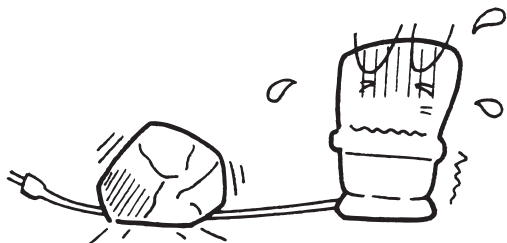
- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、または電源を切ってください。



※絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



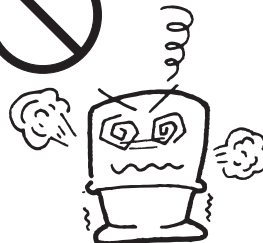
- 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。



※電源コードが破損し、火災、感電の原因になります。



空運転はしないでください



- 空運転、ポンプに水のない（呼び水をしない）状態での運転はしないでください。（「試運転」12ページを参照ください。）

※ポンプが過熱し、やけどおよび故障の原因になります。



物をかぶせたり、燃えやすいものを近づけないでください



- ポンプに毛布や布などをかぶせたりポンプカバー（保護カバー）内に燃えやすいものをいれないでください。

※過熱して発火したり、故障の原因になります。



触れないでください

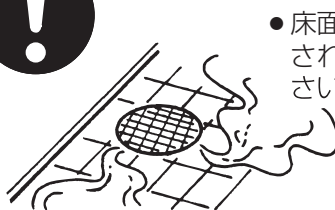


- ポンプやモータ、保温用ヒータに触れないでください。

※高温になっていますのでやけどの原因になります。



据え付け場所を確認してください



- 床面が防水処理・排水処理されているか確認してください。

※水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。



製品の上に乗ったりしないでください



- 製品の上に物を載せたり、人が乗ったりしないでください。

※変形、破損によりけがをする恐れがあります。

各部の名称とはたらき

保温用ヒータ

ガイドキャップ

中間弁

一度吸い上げた水を逆流させないようにします。

ポンプ部

吸込フランジ

アース線接続用ネジ

圧力タンク

呼び水口キャップ

補助タンク

自動空気補給器

コンデンサ

サーモスタット

モータの焼損を防止します。

モータ

吐出フランジ

ポンプカバー

(保護カバー)

水温リレー

電源コネクタ

このコネクタを抜き、電源を切ることができます。

圧力スイッチ

水栓の開閉によって自動的に電源回路の開閉をします。

ドレンキャップ

ポンプ内の水を抜くとき用います。

図は THP-150K です。

付属部品

ストレーナ

吸込管の先端からポンプ内に大きなゴミが入るのを防ぎます。

抵抗スプリング

井戸の深さが 2.5m より浅い場合に使用します。2m までの押込運転が可能になります。(8 ページ参照)

ポンプカバー固定用ビス・ワッシャ

ポンプ設置後、ご使用時にポンプカバーを固定してください。

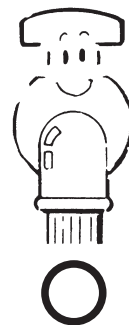


ご使用方法

12ページの「試運転」を参照のうえご使用ください。

効果的な使いかた

1. 水栓はなるべく全開の状態でお使いください。
消費電力が少なくすみ経済的です。
2. 使い終わったら、水栓は完全に閉じてください。
水栓から水漏れがあるとポンプが「運転」「停止」を繰り返します。
3. 除菌器を併用される場合は水栓を大きく開いてご使用ください。
(THP-150K, THP-250K)
(除菌器やポンプが安定して動作します)



お手入れのしかた

● 圧力タンク内の空気が減少したときは…………

このポンプには、自動空気補給器がついていますが、長時間連続して使用された場合は空気補給量が不足し、モータがひんぱんに「運転」「停止」を繰り返すことがあります。
このような場合には、次の順序で圧力タンクの水を抜き、空気を補給してください。

1. 電源プラグをコンセントから抜き、または電源を切り、水栓を全開にしてポンプの圧力を下げます。
2. 呼び水口キャップおよびドレンキャップを取りはずして、圧力タンク内の水を抜いてください。
3. 呼び水口キャップおよびドレンキャップを元どおりに取り付けてから電源を入れてください。

⚠ 警告



- お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、または電源を切ってください。
- ぬれた手で抜き差ししないでください。

※感電やけがをすることがあります。

故障かな?と思ったときは

修理を依頼される前に

水が出ない、モータがひんぱんに回るなどの故障かな?と思われましたら、修理を依頼される前に次の点検をしてください。

- 電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか?
- 電源ブレーカー、漏電遮断器が動作していませんか?
- 過剰にポンプを毛布や断熱材で保温していませんか?
- 配管、水栓から水漏れしていませんか?
- 水洗トイレ、温水ソーラー器などのボールタップから水漏れしていませんか?
- モータがひんぱんに「運転」「停止」を繰り返していませんか?
(空気補給量が不足している場合があります。“お手入れのしかた”の項を参照ください。(4ページ))
- モータは回っていますか?
(モータが回らない場合、下記4点の場合が考えられます。)
 1. メカニカルシール・インペラが固着した場合、“メカニカルシール・インペラの固着について”の項を参照ください。(12ページ)
 2. モータの温度が異常に上昇した場合、過熱防止リレーが作動します。“過熱防止リレーについて”の項を参照ください。(11ページ)
 3. モータに過電流が流れた場合、サーモスタットが働きます。“サーモスタットについて”の項を参照ください。(11ページ)
 4. ポンプ部の温度が異常に上昇した場合、水温リレーが働きます。“水温リレーについて”の項を参照ください。(11ページ)

異常な音、異常な運転をするようであれば、繰り返さずに電源を切り、“故障診断表”(13ページ)を参照の上お買い求めの販売店にご連絡ください。

警告



- 動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のため、すぐに電源プラグを抜くか、または電源を切ってお買い求めの販売店に必ず点検・修理をご依頼ください。

※感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

安全にお使いいただくための点検のお願い

次のような症状やその他の異常がある場合は、事故防止のため、すぐに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に必ず点検・修理をご依頼ください。

●ご自分での修理は、危険な場合がありますから、絶対にしないでください。

- | | |
|---------------------------|---|
| ● 運転するとブレーカーや漏電遮断器が動作する。 | ● ポンプから水漏れがする。
(ポンプヘッド部、圧力タンク、継ぎ手など) |
| ● ポンプは運転するが、水栓を開いても水が出ない。 | ● 焦げ臭い“におい”がする。 |
| ● 水を使用していないのに、ポンプが運転する。 | ● さわるとビリビリ電気を感じる。 |
| ● コード類に“ひび割れ”や“傷”がある。 | ● その他の異常がある。 |
| ● 運転中に異常な音や振動がする。 | |

- 上記の症状や異常がない場合でも4～5年お使いの製品は、安全のため点検をご依頼ください。
- 修理点検は有料となります。

⚠ 注意



● 動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のため、すぐに電源プラグを抜いて、または電源を切ってお買い上げの販売店に必ず点検・修理をご依頼ください。

※感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

アフターサービスについて

1 保証書

- この商品には保証書がついています。本取扱説明書14ページが保証書になっています。販売店から受け取っていただき必ず「販売店名・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2 修理を依頼される時

- 保証期間中の修理
保証書の記載内容により、お買い上げの販売店が修理いたします。くわしくは保証書(14ページ)をごらんください。
- 保証期間がすぎている時は
修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。くわしくは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 修理点検でポンプ以外に原因があった場合は保証期間内でも有料になることがあります。

3 補修用性能部品の最低保有期間

このポンプの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。
この期間は、経済産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

4 アフターサービスについてご不明の場合

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店へお問い合わせください。
また、ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、お近くの当社「営業所」にお問い合わせください。(15ページ)

愛情点検

★長年ご使用のポンプの点検を！



こんな症状はありませんか

- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 本体が異常に熱い。
- 異常なおいが出る。
- その他の異常、故障があるとき。



ご使用中止

故障や事故防止のため必ず販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用などくわしいことは販売店にご相談ください。




据え付け・配線工事の手引き










工事をされる方へのお願い









※ご使用前に、この「工事をされる方へのお願い」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 ※ここに示した注意事項は、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
 注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の例

-  △記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
-  ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
-  ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合はさし込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

 警告	
 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。	誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。
 修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。	発火したり、異常動作してけがをすることがあります。
 ポンプ設置の際は必ずポンプの電源プラグをコンセントから抜いて、または電源を切ってください。	感電やけがをすることがあります。
 ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。	感電やけがをすることがあります。
 アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置してください。	故障や漏電のときに感電することがあります。
 工事後、ポンプカバー（保護カバー）は必ずかぶせてください。	ほこりや絶縁劣化などで感電や火災の恐れがあります。
 電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、よく拭いてください。	火災の原因になります。
 上水道管への接続はしないでください。	水道法で禁止されています。

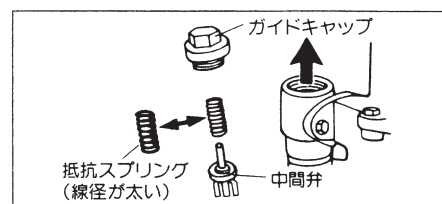
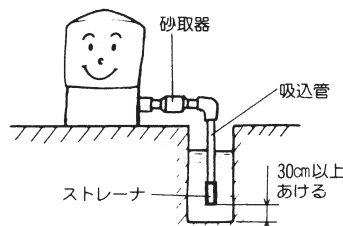
 注意	
 動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のため、すぐに電源プラグを抜いて、または電源を切ってお買い求めの販売店に必ず点検、修理をご依頼ください。	感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。
 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。	電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
 空運転、ポンプに水のない（呼び水をしない）状態での運転はしないでください。（「試運転」12ページを参照ください。）	ポンプが過熱し、やけどおよび故障の原因になります。
 ポンプに毛布や布などをかぶせたり、ポンプカバー（保護カバー）内に燃えやすいものを入れないでください。	過熱して発火したり、故障の原因になります。
 ポンプやモータに触れないでください。また、通電時は保温用ヒータには触れないでください。	高温になっていますのでやけどの原因になります。
 床面が防水処理・排水処理されているか確認してください。	水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。
 製品のうえに物を載せたり、人が乗ったりしないでください。	変形、破損によりけがをすることがあります。

ご注意	
このポンプを水以外の液体には使用しないでください。	特に灯油などは爆発の恐れがあります。

据え付け・配線工事の手引き

据え付け工事について

- 1 水面までの深さを調査してください。
このポンプの吸上高さは最大8mです。湧水期のことも考慮して正確に測ってください。
- 2 ポンプはなるべく井戸の近くに据え付けてください。
吸込管の横引きが長くなりますと抵抗が増え、その機能を十分に発揮できない場合があります。(横引き10mは吸上高1mに相当します。)
- 3 凍結防止対策は10ページ「凍結防止について」の項をご参照のうえ必ず行ってください。
- 4 据え付けには、点検、修理のできるスペースを設けてください。
- 5 基礎は水平でしっかりしたものを
ご使用ください。
できるだけコンクリートで基礎をつくりポンプが傾かないようにしてください。
- 6 砂を吸い上げやすい井戸にはポンプの吸込側に砂取器を取り付けてください
また吸込管の先端にストレーナを取り付けてください。
- 7 吸込管の下端は湧水期のことも考えてなるべく水中深く入れてください。
ただし、井戸底から30cm以上離してください。
- 8 配管工事の際、パイプの中に切りクズや小石などが入らないように注意してください。
ポンプのインペラや中間弁につまり揚水不能の原因になります。
- 9 吸上げ高さが2.5mより浅いときには中間弁のスプリングを付属の抵抗スプリングと取りかえてください。
自動空気補給器のはたらきを確実にし、2mまでの押込運転（ポンプより水面が高い場合の運転）が可能になります。
- 10 据え付け場所のアリの駆除を推奨します。
圧力スイッチ内部に侵入して動作不良の原因となる可能性があります。
- 11 ポンプ配管は上水道管へ接続することができません。
ポンプ故障の原因となるばかりではなく、水道法により禁止されています。



据え付け前のご確認

1. 電源の確認

- 使用するポンプの電源と合っているかどうか確認してください。
単相用ポンプ…単相100V
- 周波数は、50Hzまたは60Hzいずれか専用です
から確認してください。

2. 砂等の異物の確認

あらかじめ、他のポンプ（手押しポンプやうず巻きポンプなど）で水源の砂を取り除いてください。また必要に応じて砂取器を取り付けてください。
(砂等の異物は、インペラへのかみこみによる故障や、圧力タンクの塗膜面を傷つけ錆が発生し、圧力タンク穴開きの原因になります)

ご注意

- 砂等の異物によるポンプの故障につきましては保証期間内でも有料修理となりますので、揚水中に砂上り等のないよう十分注意して施工してください。
- ご使用の水質（鉄・マンガンなどのカナケの含有量やPH値など）の影響により、早期に圧力タンクに穴が開いてしまう可能性があります。

3. 据え付け場所の確認

- 点検・修理のしやすい場所を選んでください。
- できるだけ水源の近くに取り付けてください。
■ 横引きの距離（水源からポンプまで）は、吸上高さ（吸水面からポンプの中心まで）によって制限されます。
■ 吸上高さは、湧水時の水位低下を考えて決めてください。
吸上高さによる横引管の長さ制限

吸上高さ(m)	8	7	6
横引管の長さ(m)	3以内	13以内	23以内

- 横引管は短かく、ポンプ側が高くなるようにしてください。

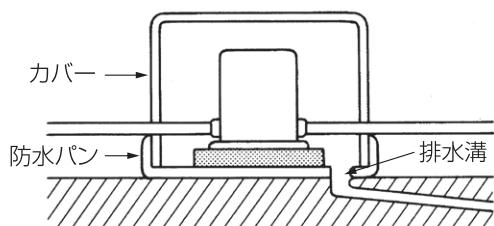
4. 水栓の取付最高位置

配管や水栓・浄水器などの抵抗、シャワーなどの必要最小圧力を考慮して、器具や水栓の取り付け位置を決めてください。

据え付け・配線工事の手引き

据え付け時のご注意

1. 設置場所は漏水しても支障のない所か、漏水しても排水が十分できるようにしておいてください。
2. 特に2階以上に設置する場合など、床や階下に水が流出しないように排水の配慮が必要です。
 - ※ポンプの寿命などで水漏れを起こした場合、発見が遅れると周囲や階下が水浸しになり、大きな補償問題になる場合があります。



カバーは風通しのできる構造にしてください。

防水パン、カバーなどで噴き出した水が必ず排水できるようにしてください。
ボイラー（給湯器）への給水に使用しないでください。一定圧給水型ではないため、正常に使用できない場合があります。

⚠ 注意



- 床面が防水処理・排水処理されているか確認してください。
※水漏れが起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。

配線工事について

⚠ 警告



- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全確実に行ってください。
※誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。



- アースを確実に取り付け、専用の漏電遮断器を設置してください。
※故障や漏電のときに感電することがあります。

(漏電遮断器は◇PS-Eマークのある感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下で電路の定格電流以上のものを取り付けてください。)

ご注意

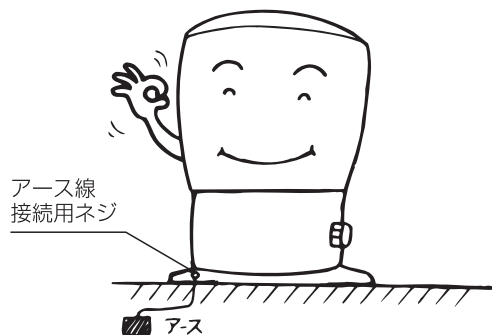
- ポンプは専用の分岐回路に電源を接続してください。同一分岐回路に照明器具があるとポンプの起動時、照明器具がちらつくことがあります。やむを得ず屋外にコンセントを設ける時は防水形コンセントを使用してください。

アース線の接続について

アース線はアース線接続用ネジにつないでください。

次のようなところにはアース線を接続しないでください。(法令等で禁止されています。)

1. 水道管…配管の途中が塩化ビニール管の場合はアースされません。
2. ガス管…爆発や引火の危険があります。
3. 電話線のアースや避雷針…落雷のとき大きな電流が流れて危険です。
4. D種接地工事をしてください。



D種接地工事
(第3種接地工事)

凍結防止について

冬は寒い地方だけでなく、暖かい地方でも寒波が来てポンプ、配管が凍結して破損することがあります。ぜひつぎのような防寒対策を行ってください。

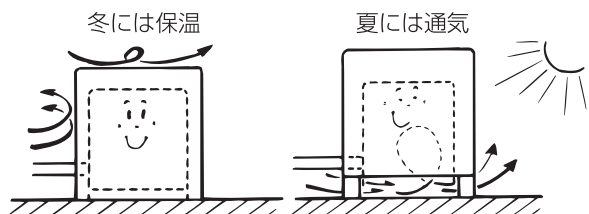
1. ポンプの保温

このポンプ本体には気温が5℃以下になると、ポンプを自動的に保温する凍結防止機構を内蔵しています。電源を切ると凍結防止機構が動きませんので、寒冷地では長時間にわたって運転しない時でも電源を切らないでください。

なお、やむを得ず長期間ご使用されずに電源を切る場合は、ポンプおよびタンク内の水を抜いて保管してください。凍結による故障については保証できません。

ご注意

屋外に据え付ける場合や外気温が特に低い（無風時-10℃以下）地方では、この凍結防止機構だけでは効果がありませんので小屋をつくり内側に断熱材を貼り、保温する等し、凍結しないようにしてください。なお夏は温度が上がりますので通気できるようにしてください。



- 保温中はヒータが高温になっていますので手を触れないでください。

お願い

- 通電時は保温用ヒータには触れないでください。

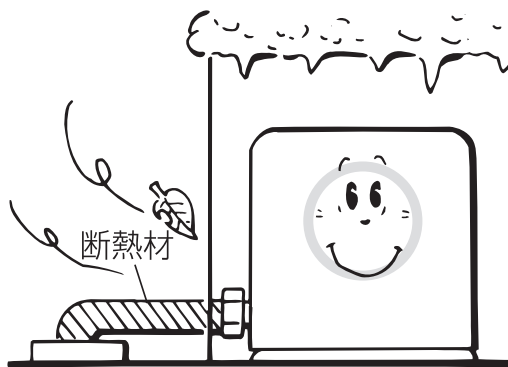
※高温になっていますので、やけどをする恐れがあります。

2. 配管の保温

横引き配管は、できるだけ地中に埋め、やむをえず露出する部分はすべて断熱材を巻いて保温してください。

ご注意

- 凍結防止のため水栓から少量の水を流し続けることはやめてください。消費電力が増えたりポンプの寿命を縮める原因となります。



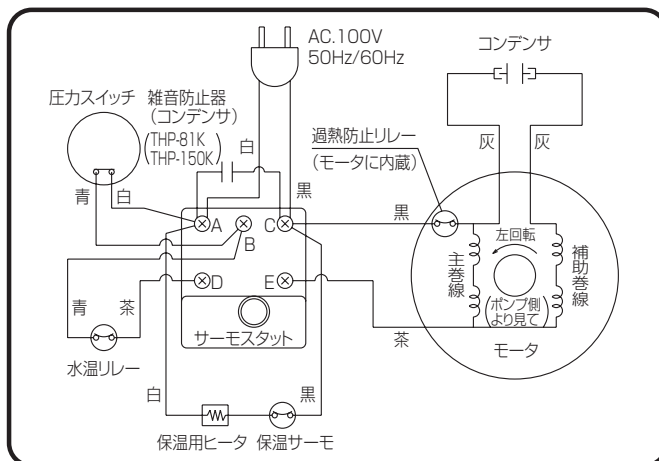
過熱防止リレーについて

ポンプには、モータの温度が異常に上昇した場合にその温度を感知して、自動的にモータを停止させる過熱防止リレーが内蔵されております。この過熱防止リレーは自動復帰式ですから、作動後モータの温度が下がりますと自動的に復帰し、運転を開始します。(約15~20分後) 過熱防止リレーが作動していると考えられる場合

1. 先ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。
2. 作動の原因を取り除いてください。
 - (a) 呼び水が不足している。
 - (b) 吸込管より空気を吸込んでいる。
 - (c) 井戸水が少なくなり水位が低下している。
 - (d) 配管が凍結している。
 - (e) 中間弁に異物がかみこんでいる。
 - (f) 吸込側のボルト、キャップ類が十分締まっていない。
 - (g) 電圧が著しく低下している。
 - (h) 防寒用断熱材等のはずし忘れにより夏に異常な温度上昇となっている。

モータが常温となってから電源を入れてください。電源を入れる場合は、「試運転」(12ページ)を参照してください。

配線図



警告

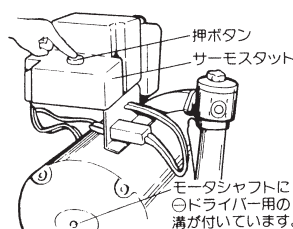


- 点検の際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、または電源を切ってください。
- ぬれた手で抜き差ししないでください。

※感電やけがをすることがあります。

サーモスタットについて

1. サーモスタットが働いてポンプが停止した場合はその原因を取り除いてから押しボタンを押し電源を入れてください。
2. サーモスタットが働いたときは、電源スイッチを切るか、電源プラグをコンセントから抜いてモータ後部のシャフトの切溝に⊖ドライバーを入れて回してください。回らない場合はポンプ部に異物が、かみこんでいないかなど原因を調べてください。



ご注意

- サーモスタット(押しボタン)をテープなどで固定しないでください。
- ※発火、火災の恐れがあります。

警告



- 点検の際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、または電源を切ってください。
- ぬれた手で抜き差ししないでください。

※感電やけがをすることがあります。

水温リレーについて

ポンプ使用中にポンプ部水温が異常に上昇した場合、自動的に停止させポンプ部を保護する水温リレーがケーシングに取り付けられています。ポンプ部水温が下がると自動的に復帰します。作動している場合は電源を切って、販売店にご連絡ください。

メカニカルシール・インペラの固着について

1. 据え付け時や、長時間使用されなかった場合などポンプ内のメカニカルシール（軸封部品）・インペラが固着しポンプが回らない場合があります。
2. 電源を入れてもポンプが回らない場合には電源プラグをコンセントから抜いてモータ後部のシャフトの切溝に ⊖ ドライバーを入れて回してください。

⚠ 警告



- 点検の際は必ず電源プラグをコンセントから抜いて、または電源を切ってください。
- ぬれた手で抜き差ししないでください。

※感電やけがをすることがあります。

⚠ 注意



- 動かなくなったり、異常がある場合は、事故防止のため、すぐに電源プラグを抜くか、または電源を切ってお買い求めの販売店に必ず点検・修理をご依頼ください。

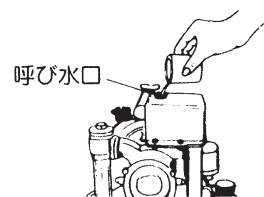
※感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。

試 運 転

運転方法

1. 呼び水口キャップを左へ回し取りはずします。
2. 呼び水口から水を流し込みます。
(モータや電気回路に水がかからないようご注意ください。)
3. 呼び水口キャップを元通りしっかりと取り付けてください。
4. 吐出側の水栓を1カ所開いてください。
5. 電源を入れてください。

出力80~150W コップ約2杯(約300cc)
出力250W コップ約3杯(約450cc)



注意

- 呼び水をしてポンプを運転しますと約7分以内に揚水します。
- 7分以内に揚水しない場合は呼び水が不足しているためですから、電源を切り再び呼び水をしてください。
- 呼び水を追加しても揚水しない場合は13ページ「故障診断表」の項を参照してください。
- 試運転または空運転時に「ゴゴゴ」と音が発生することがありますが異常ではありません。
ポンプ部はインペラフリー方式ですので揚水すると音がでなくなります。

⚠ 注意



禁 止

- 空運転（ポンプに水のない状態での運転）はしないでください。

※ポンプが過熱し、やけどおよび故障の原因になります。

故障診断表

故障修理を依頼される前に電源プラグのはずれを確認し、はずれていなければ差し込みプラグをコンセントから抜いてまたは、電源を切ってお買い求めの販売店に必ず点検・修理をご依頼ください。

故障状態	故障原因	対策・処置
モータが回らない	電源プラグのはずれ、または断線。	確実に接続する。電源コードの交換。
	サーモスタットが働いている。	作動原因を除いてから押しボタンを押す。(11 ページ)
	過熱防止リレーが作動している。	“過熱防止リレーについて” の項を参照ください。(11 ページ)
	水温リレーが作動している。	“水温リレーについて” の項を参照ください。(11 ページ)
	漏電遮断器が作動している。	漏電の原因を調査・修理。
	モータまたは圧力スイッチの故障。	修理または交換。
	圧力スイッチ内部の電気接点にアリが侵入して導通を妨げている。	修理または交換。
	電圧が低い。	電力会社に相談する。
	ポンプ部の固着、異物のかみこみ。	モータシャフトを回す。異物を取り除く。
モータは回るが揚水しない	井戸水位の低下。	水深の調査、配管の延長。
	中間弁からの水漏れ。	分解掃除、呼び水。
	呼び水不足。	呼び水を足す。(12 ページ)
	吸込側配管・パッキン部の漏れ。	漏れの調査、修理。
	メカニカルシールからの空気を吸込む。	メカニカルシールを交換。
モータが止まらない	圧力スイッチの故障。	不良原因の調査、交換。
	電圧が低い。	電力会社に相談する。
	ポンプ内インペラの摩耗。	インペラの交換。
水を使用しないのにモータが回る	配管、水栓からの水漏れ。	修理。
	中間弁からの逆流。	分解掃除。
水を少し出すだけでモータがひんぱんに回る	圧力タンク内の空気が減少している。	圧力タンクに空気を補給する。 “お手入れのしかた” の項を参照ください。(4 ページ)
	自動空気補給器が十分作動していない。	原因を調べ修理または取りかえる。
揚水量が少ない	電圧が低い	電力会社に相談する。
	インペラが摩耗している。	インペラの交換。
	配管水路内のつまり	異物を取り除く。

仕様

項目	品番	THP-81KF	THP-81KS	THP-150KF	THP-150KS	THP-250KF	THP-250KS
電動機	種類	コンデンサ誘導電動機					
	電源	単相100V					
	出力	80W		150W		250W	
	周波数	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
	消費電力	200W	200W	345W	325W	500W	500W
ポンプ	吸上高さ	8m					
	押上高さ	4m		8m		14m	
	揚水量(全揚程12mのとき)	13L/min		21L/min		30L/min	
	圧力スイッチ開閉圧力	50~100kPa		90~180kPa		160~240kPa	
配管	吸込管	20mm(3/4B)				25mm(1B)	
	吐出管	20mm(3/4B)				25mm(1B)	
製品質量	12.3kg		14.0kg		22kg		
製品寸法	(直径)318×(高さ)402mm		(直径)318×(高さ)461mm		(直径)366×(高さ)538mm		
付属部品	抵抗スプリング1個、ストレーナ1個						

保証書

テラワポンフ

保証書

品番	製品番号
★お客様お名前 様	
★ご住所 〒 ★電話番号 () -	
保証期間 ★お買上日 年 月 日から 本体 1年間	※取扱販売店名、住所、電話番号

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、出張修理をご依頼のうえ、修理に際して本書をご提示ください。

★印、※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ず確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 - 車両・船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 異常水質・異常水圧などによる故障および損傷。
 - 仕様変更など。
- 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
 - ご転居の場合は事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

●修理メモ ----- ----- -----

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権限を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、末尾頁の営業所にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、6頁アフターサービスについてをご覧ください。

営業所一覧表

アフターサービスはお買い求めの販売店へ

- 東京支社 〒116-0002 東京都荒川区荒川1-49-1 荒川第10秦ビル2F
TEL 03-3803-1161(代) FAX 03-3803-1162
- 神奈川営業所 〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢2125-1-101
TEL 042-774-3670(代) FAX 042-774-3671
- 北関東営業所 〒360-0015 埼玉県熊谷市肥塚2丁目7番28
TEL 048-523-2654(代) FAX 048-525-5216
- 仙台営業所 〒984-0011 宮城県仙台市若林区六丁の目西町3-33
TEL 022-287-0231(代) FAX 022-287-0235
- 新潟営業所 〒950-0948 新潟県新潟市中央区女池南1丁目5番16号
TEL 025-284-0011(代) FAX 025-284-1212
- 名古屋営業所 〒457-0004 愛知県名古屋市南区中江2丁目2番9号
TEL 052-819-0188(代) FAX 052-819-0180
- 静岡営業所 〒420-0884 静岡県静岡市葵区大岩本町26-32 パークサイド城北1F-C
TEL 054-200-1002(代) FAX 054-200-1003
- 大阪支社 〒543-0028 大阪府大阪市中央区農人橋二丁目1番30号 谷町八木ビル9F
TEL 06-6940-1177(代) FAX 06-6940-1178
- 岡山営業所 〒700-0971 岡山県岡山市北区野田三丁目9-10-2 岡崎事務所1F東
TEL 086-245-4497(代) FAX 086-245-7246
- 高松営業所 〒761-8078 香川県高松市仏生山町甲836番地1 ガーデンハイツピュア101号
TEL 087-888-5118(代) FAX 087-888-5119
- 福岡営業所 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南3-10-23 第5西田ビル2F-E
TEL 092-411-7555(代) FAX 092-411-7585
- 広島営業所 〒733-0861 広島県広島市西区草津東1丁目1-6 第3松本ビル1F
TEL 082-271-6505(代) FAX 082-271-6506
- お電話でのお問い合わせ 月～金 9:00～12:00 13:00～17:00(土、日、祝日、大型連休を除く)



株式会社 寺田ポンプ製作所

〒635-8535 奈良県大和高田市東雲町3番17号
TEL 0745-52-5101(代) FAX 0745-23-0013
E-mail : info@teradapump.co.jp

<http://www.teradapump.co.jp/>



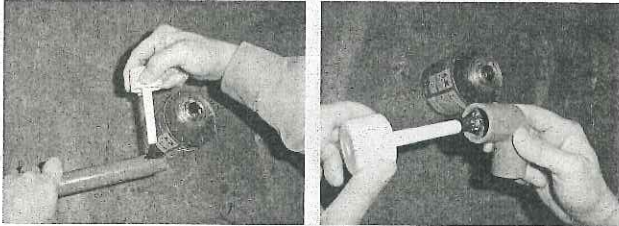
3116411P65100 D

据え付け工事時のご注意

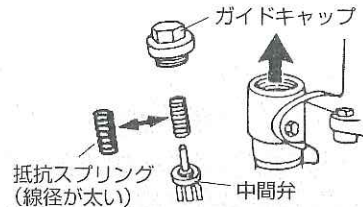
ポンプ設置時には吸込配管・吐出配管に漏れの無いことをご確認ください。
配管に漏れがあるとポンプの揚水不良や故障の原因となります。

塩ビ配管を接続するときは、専用の接着剤を、パイプの外面 継ぎ手の内面の全周に塗布して完全に接着してください。

〔配管漏れの原因になります。〕



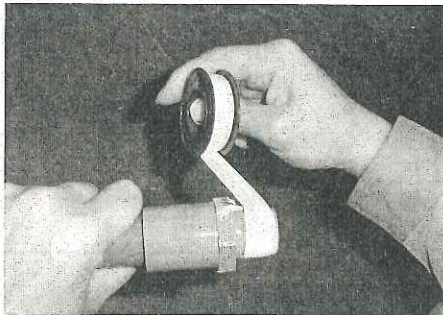
吸い上げ高さが2.5mより浅い時には中間弁のスプリングを付属の抵抗スプリング（線径の太いもの）に取り替えてください。自動空気補給器のはたらきを確実にし2mまでの押し込み運転（ポンプより水面が高い場合の運転）が可能となります。（浅井戸用自動式 THP タイプ）



* 砂等を吸い上げる恐れのある井戸には、吸込管に砂取器を設置してください。

吸込フランジ・吐出フランジにバルブソケットを接続する時はバルブソケットのねじ部にシールテープをねじの締まる方向（右回転方向）に2～3回巻いてください。なお、シール効果を増すために、その上にシリコンシーラントを塗布してください。

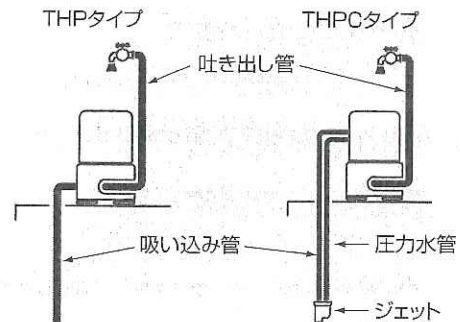
〔配管漏れの原因になります。〕



①ポンプの買い換え・付け替え時には既設の配管の吸い込み側・吐き出し側に水漏れ等のないことをご確認ください。

〔揚水不良やポンプの故障の原因となります〕

②既設の吸込管の配管内の異物を取り除いてください。〔ポンプロックの原因になります。〕



ポンプへの配管接続は、一旦圧力タンクよりフランジを外して配管に工具で締め付けてください。（写真A）〔圧力タンクにフランジを取付けた状態での配管接続はフランジ及びフランジバック金のずれによる配管漏れの原因になります。〕

圧力タンクへの接続はフランジボルトで確実に締め付けてください。（写真B）

〔配管漏れの原因になります。〕

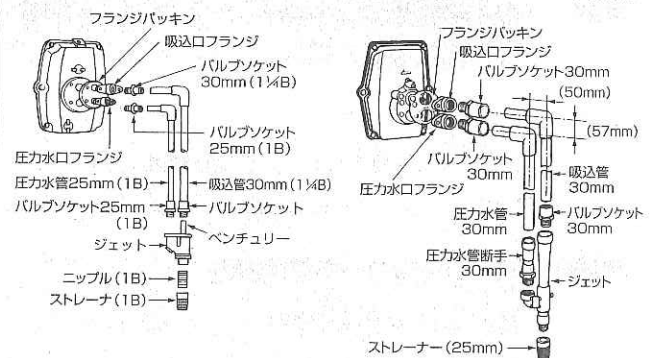


写真A

写真B

浅深井戸自動式ポンプ（THPCタイプ）を深井戸配管で設置される時はジェットとポンプ部の接続において吸込管と圧力水管の接続を図のように確実に行ってください。

付属ジェット（THPC25-J20U）接続時 別売ジェット（THPC25-J24U）接続時



初期使用中の故障時の再確認項目

モータが回らない

原因：サーモスタットが働いている。

『取扱説明書』の“サーモスタットについて”の項目をご参照ください。

モータ後部シャフトをマイナスドライバーで回してください。回らない場合はポンプ部に異物などがかみ込んでいないか原因を調べてください。

原因：メカニカルシール・インペラの固着

据え付け時や長期間使用されなかった場合ポンプ内のメカニカルシール・インペラが固着して回らない場合があります。

モータ後部シャフトをマイナスドライバーで回してください。



モータシャフト後部に
マイナスドライバー用
の溝がついています。

モータは回るが揚水しない

原因：呼び水不足

『取扱説明書』の“試運転”の項目をご参照ください。

原因：井戸の水位の低下

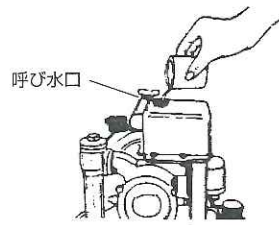
井戸水位を再確認してください。

原因：吸い込み側配管の漏れ

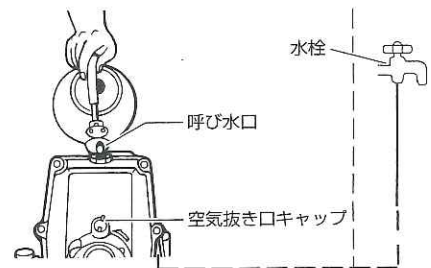
**原因：調整ねじの調整不足
(THPCタイプの場合)**

『取扱説明書』の“試運転”の項目をご参照ください。

THPタイプの場合



THPCタイプの場合



蛇口を閉めてもモータが止まらない

原因：吐出管からの漏れによる圧力不足

吐出管の漏れを確認してください。

原因：中間弁 (THP)・フート弁 (THPC)

からの水落ちによる空運転

中間弁・フート弁を確認してください。

原因：圧力スイッチの故障

圧力スイッチを交換してください。

ポンプの異常時には、修理を依頼される前にまず、『取扱説明書』の“故障診断表”の項目をご参照の上お買い上げの販売店／弊社営業所へご連絡ください。



株式会社 寺田ポンプ製作所

〒635-8535 奈良県大和高田市東雲町3番17号
TEL 0745-52-5101(代) FAX 0745-23-7155

<http://www.teradapump.co.jp/>

E-mail: info@teradapump.co.jp